

【2020年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
運動学実習(理学療法学科中心)		必修(理) 選択(福)	1	2	後期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
駒形 純也 他	D320	j.komagata	火曜日 9:00 ~ 11:00		
授業の目的・概要	臨床現場において患者の運動障害を分析するための基礎となる、生体の仕組みを理解することを目的とする。運動学に係る実習を行い、得られたデータを分析し、論理的思考を身につけるとともに、実験レポートの作成方法を習得する。				
学習上の助言	講義では、臨床現場で使用する様々な機器を実際に使用し、測定を行う。得られたデータを目的、方法、結果、考察に分けてレポートにする。運動学Ⅰ・Ⅱで学習した内容を復習しておくことが望ましい。				
教科書	基礎運動学 第6版補訂 著 中村隆一 他 医歯薬出版 2012				
参考書	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	生体の運動学的・生理学的反応に関する知識を深め、説明できる。			HSU(2), PT(3)	
②	実習を通じて運動学的計測手法について理解する。			HSU(6), PT(3)	
③	実習結果を運動学的に分析し、身体運動・動作の特徴や仕組みを理解する。			HSU(2), PT(3), (6)	
④	実習結果をレポートにまとめることができる。			HSU(2), (5), PT(2), (5)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	事前事後学習内容・必要時間(時間)		
1	座位、立位姿勢を観察し、姿勢のアライメントを理解する。※1	実習、講義	配布プリントを復習する。	1	
2	座位、立位姿勢を観察し、姿勢のアライメントを理解する。※1	実習、講義	配布プリントを復習する。	1	
3	起居動作を観察し、姿勢、関節運動を理解する。※1	実習	教科書(pp.421~426)を読み、起居動作について予習する。	1	
4	起居動作を観察し、姿勢、関節運動を理解する。※1	実習	教科書(pp.421~426)を読み、起居動作について予習する。	1	
5	異なる条件での立ち上がり動作を観察し、動作の違いを考察する。※1	実習	教科書(pp.421~426)を読み、起立動作について予習する。	1	
6	異なる条件での立ち上がり動作を観察し、動作の違いを考察する。※1	実習	教科書(pp.421~426)を読み、起立動作について予習する。	1	
7	歩行観察から歩行周期を算出し、正常歩行を理解する。※1	実習	教科書(pp.379~384)を読み、歩行周期について予習する。	1	
8	歩行観察から歩行周期を算出し、正常歩行を理解する。※1	実習	教科書(pp.379~384)を読み、歩行周期について予習する。	1	
9	歩行観察から歩行時の関節運動を学習する。※1	実習	教科書(pp.384~389)を読み、歩行動作について予習する。	1	
10	歩行観察から歩行時の関節運動を学習する。※1	実習	教科書(pp.384~389)を読み、歩行動作について予習する。	1	
11	歩行における距離因子と時間因子を学習する。※1	実習	教科書(pp.401~404)を読み、歩行について予習する。	1	
12	歩行における距離因子と時間因子を学習する。※1	実習	教科書(pp.401~404)を読み、歩行について予習する。	1	
13	重心動揺測定について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する。※1	実習、講義	教科書(pp.364~368)を読み、姿勢について予習する。	1	
14	重心動揺測定について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する。※1	実習、講義	教科書(pp.364~368)を読み、姿勢について予習する。	1	
15	呼気ガス分析装置について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する。※1	実習、講義	教科書(pp.167~176)を読み、呼吸について予習する。	1	
16	呼気ガス分析装置について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する。※1	実習、講義	教科書(pp.167~176)を読み、呼吸について予習する。	1	
17	呼気ガス分析を用いて健常者と呼吸器、循環器疾患患者の違いを考察する。※1	実習、講義	教科書(pp.167~176)を読み、呼吸について予習する。	1	
18	呼気ガス分析を用いて健常者と呼吸器、循環器疾患患者の違いを考察する。※1	実習、講義	教科書(pp.167~176)を読み、呼吸について予習する。	1	

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系/旧カリキュラム】

19	筋電計について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する。※2	実習、講義	教科書(pp.72～87)を読み、骨格筋について予習する。	1
20	筋電計について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する。※2	実習、講義	教科書(pp.72～87)を読み、骨格筋について予習する。	1
21	筋力測定について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する。※1	実習、講義	教科書(pp. 22～30)を読み、筋の活動張力について予習する。	1
22	筋力測定について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する。※1	実習、講義	教科書(pp. 22～30)を読み、筋の活動張力について予習する。	1
23	総括 (レポートの内容について解説する) ※1	講義	配布プリントを復習する。	1

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	40	0	0	60	100
総合力指標	知識・技術力	0	20	0	0	20	40
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	10	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	10	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法	
試験	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①	レポート(40%)により判定する。 レポートの内容は、測定結果を基に目的、方法、結果、考察に分けて論述する。レポートの評価基準表を講義内で配布する。	レポートを返却し、授業時に解説する。	
	②			✓
	③			✓
	④			✓
	⑤			
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	各講義でリアクションペーパー(20%)や課題(40%)の提出を求め、その内容を採点し、評価する。課題は、使用する機器に関連する問題や運動学に関する問題を出題し、理解度を問う。	提出物は返却し、授業時に解説する。	
	②			✓
	③			✓
	④			✓
	⑤			
	⑥			

備考

担当教員：◎駒形 純也、遠藤 悠介(※1：駒形担当、※2：遠藤担当)

- ・場所は D 棟 2F 実習評価室 D で行う。
- ・測定がしやすい服装で受講すること。
- ・PC を持参すること。

なお、シラバスの内容は、授業の進行状況等により一部修正することがある。

教員の実務経験：駒形 理学療法士(クリニックや介護保険領域を中心に勤務)

遠藤 理学療法士(大学病院、整形外科クリニック、介護老人保健施設、スポーツ現場での勤務経験)

実践的授業の内容：運動器疾患などにおいてみられる典型的な動作を提示し、障害別の動作や運動の理解を促す。